

《③医療費の助成》

★サービスの内容等が変更になる場合があります。 ●・・・必ず手帳が必要なサービスです。
 ・・・必ずしも手帳が必要ではないサービスです。

区分	身障手帳						療育手帳				精神手帳			難病等						
	1級	2級	3級	4級	5級	6級	A1	A2	B1	B2	1級	2級	3級							
	●	●	●				●	●	●		●									
福祉医療	<p>重、中度の障がい者が各医療機関に支払った保険診療に該当する医療費の一部を助成するものです。</p> <p>1 支払いについて 「自己負担」として、ひと月ごと・病院ごとに1日800円として、かかった日数分(上限1,600円)を差し引いた金額をお支払いします(薬局については、「自己負担額」はありません)。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>ひと月の診療・入院日数</td> <td>1日</td> <td>2日以上</td> </tr> <tr> <td>自己負担額</td> <td>800円</td> <td>1,600円</td> </tr> </table> <p>※他の法令等による給付が優先します。 ※身障手帳3級・療育手帳B1の方には「自己負担額」を差し引いた残り2分の1の金額を支給します。 ※精神手帳1級の方は、通院にかかる医療費が対象となります。</p> <p>2 支給日について (1) 70歳以上の方及び後期高齢者医療保険加入者の方 診療月から3か月後の25日に支給します。 (2) (1)以外の方 毎月末日までの受付分は、翌月の25日に支給します。</p> <p>3 支給申請について ひと月の精算を終わらせてから、「福祉医療費支給申請書」に、領収書または受診した医療機関から証明を受けた「医療機関証明書」を添付して、障がい福祉課(郵送可)または各支所等に提出してください。</p> <p>(1) 保険診療点数・日数・氏名・診療月が明記してある領収書原本があれば医療機関等証明書は不要です。 (2) 一旦提出された領収書は、返送いたしません。高額療養費等の申請がある方はご注意ください。 (3) 領収書原本が必要なときはコピーでの受付ができます。 事前にコピーを準備して、原本と一緒にご持参ください。 原本は申請確認のゴム印を押してお返しします。(郵送の際には、原本・コピー・返信用封筒を同封の上、送付ください。確認後、返送します。)</p> <p>(4) 同じ病院の同じ月分を2回に分けて申請することはできません。 ※領収書の提出もれが無いかどうかを提出前に確認してください。 (5) 障がい福祉課・各支所等に支給申請書と領収書等をご提出の際には、<u>受給者証と保険証(コピー可)を一緒にご提示ください。</u></p> <p>4 保険証等の変更について 健康保険証の内容に変更があった場合は、必ず「異動届」を提出してください。 (1) 提出先 障がい福祉課(郵送可)・各支所・行政センター (2) 必要なもの 受給者証・新しい保険証・印鑑・手帳</p>														ひと月の診療・入院日数	1日	2日以上	自己負担額	800円	1,600円
	ひと月の診療・入院日数	1日	2日以上																	
自己負担額	800円	1,600円																		
条件	<p>○本人及び扶養義務者等の所得制限があります。 ○小学校就学前の方は、乳幼児福祉医療の対象となります。 ○小中学生の方は、原則として、小中学生福祉医療の対象となります。</p>																			
申請手続きに必要なもの	<p>【資格認定申請時】 ○福祉医療費受給資格認定申請書兼台帳 ○身体障害者手帳、療育手帳または精神障害者保健福祉手帳 ○健康保険証 ○預金通帳(本人名義) ○所得・課税証明書(詳しくは窓口でお尋ねください。) ○印鑑 ○マイナンバーがわかるもの ○同意書 ※代理人の方による申請の場合、代理人の方の身分証明書、印鑑が必要になります。 ※障がい福祉課で受け付けます。</p>																			
	問い合わせ先		障がい福祉課																	

《③医療費の助成》

★サービスの内容等が変更になる場合があります。 ●・・・必ず手帳が必要なサービスです。
 ■・・・必ずしも手帳が必要ではないサービスです。

区分	身障手帳						療育手帳				精神手帳			難病等
	1級	2級	3級	4級	5級	6級	A1	A2	B1	B2	1級	2級	3級	
自立支援医療（更生医療）	●	●	●	●	●	●								
サービス内容	特定の病院で特定の治療（人工透析、心臓ペースメーカー植込術、人工関節置換術など）を行う場合に、医療費の助成を行います。 ○自己負担額は原則1割となりますが、本人及び同一医療保険の加入者の所得、市町村民税額等に応じて自己負担の上限があります。													
条件	○身体障害者手帳を持っている18歳以上の方 ○申請は対象となる医療が行われる前に必要です。 ※お早めの相談、申請をお願いします。													
申請手続きに必要なもの	○自立支援医療費（更生医療）支給認定申請書 ○指定医療機関の主たる医師の意見書 ○身体障害者手帳 ○健康保険証 ○特定疾病療養受療証（人工透析の方など） ○同意書または課税証明書（詳しくは窓口でお尋ねください。） ○印鑑 ○障害年金、遺族年金受給者の方は年金振込通知書等年金の額がわかるもの ○マイナンバーがわかるもの													
問い合わせ先	障がい福祉課													
区分	身障手帳						療育手帳				精神手帳			難病等
1級	2級	3級	4級	5級	6級	A1	A2	B1	B2	1級	2級	3級		
自立支援医療（精神通院）														
サービス内容	精神障がいの通院の医療を受ける場合、その医療に必要な費用を医療保険と公費で負担する制度です。保険の種類に関係なく、本人及び同一医療保険の加入者の所得、市町村民税額等に応じて自己負担の上限があります。 ※有効期間は1年間です。1年を経過してもなお通院が必要な方は、有効期間終期の3カ月前から更新の申請ができます。													
条件	精神疾患のため日常生活に支障があり、医療機関に長期にわたって通院している方													
申請手続きに必要なもの	○自立支援医療費（精神通院）支給認定申請書 ○印鑑 ○診断書 ○健康保険証 ○障害年金、遺族年金受給者の方は年金振込通知書等年金の額がわかるもの ○同意書または課税証明書（詳しくは窓口でお尋ねください。） ○マイナンバーがわかるもの													
問い合わせ先	障がい福祉課													

《③医療費の助成》

- …必ず手帳が必要なサービスです。
- …必ずしも手帳が必要ではないサービスです。

区分	身障手帳						療育手帳				精神手帳			難病等	
	1級	2級	3級	4級	5級	6級	A1	A2	B1	B2	1級	2級	3級		
	〔手帳を持っていない方でも対象になる事があります〕														
難病医療	サービス内容	<p>発病の仕組みが明らかでなく、かつ治療方法が確立していない希少な疾病であって、当該疾病にかかることにより長期にわたって療養を必要とされる指定難病患者の医療費の負担軽減を図ることを目的とした制度です。</p> <p>難病の治療に係る医療費について、長崎県が国の補助を受けて助成します。</p>													
難病医療	条件	<p>長崎県に住所を有し、指定難病に罹患していると認められる方で、次の①又は②のいずれかに該当する方が対象となります。</p> <p>①その症状の程度が、国で定められた程度である方</p> <p>②①に該当せず、特定医療費の支給認定の要件である「重症度分類等」を満たさないものの、申請を行った月以前の12月以内に「指定難病に係る医療費の総額」が33,330円を超える月数が3月以上ある方</p>													
難病医療	申請手続きに必要なもの	<p>長崎県のホームページでご確認ください。</p> <p>詳しくは下記の問い合わせ先にお尋ねください。</p>													
問い合わせ先		長崎県国保・健康増進課（095-895-2496）													

難病の患者に対する医療等に関する法律第5条第1項に規定する指定難病

(1～110は平成27年1月から、111～306は同年7月から、307～330は平成29年4月から、331は平成30年4月から、332～333は令和元年7月から医療費助成を開始)

番号	病名	番号	病名	番号	病名
1	球脊髄性筋萎縮症	60	再生不良性貧血	119	アイザックス症候群
2	筋萎縮性側索硬化症	61	自己免疫性溶血性貧血	120	遺伝性ジストニア
3	脊髄性筋萎縮症	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	121	神経フェリチン症
4	原発性側索硬化症	63	特発性血小板減少性紫斑病	122	脳表ヘモジデリン沈着症
5	進行性核上性麻痺	64	血栓性血小板減少性紫斑病	123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症
6	パーキンソン病	65	原発性免疫不全症候群	124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症
7	大脳皮質基底核変性症	66	IgA 腎症	125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症
8	ハンチントン病	67	多発性嚢胞腎	126	ペリー症候群
9	神経有棘赤血球症	68	黄色靱帯骨化症	127	前頭側頭葉変性症
10	シャルコー・マリー・トウス病	69	後縦靱帯骨化症	128	ビッカースタッフ脳幹脳炎
11	重症筋無力症	70	広範脊柱管狭窄症	129	痙攣重積型(二相性)急性脳症
12	先天性筋無力症候群	71	特発性大腿骨頭壊死症	130	先天性無痛無汗症
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	72	下垂体性ADH分泌異常症	131	アレキサンダー病
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	73	下垂体性TSH分泌亢進症	132	先天性核上性球麻痺
15	封入体筋炎	74	下垂体性PRL分泌亢進症	133	メビウス症候群
16	クロー・深瀬症候群	75	クッシング病	134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群
17	多系統萎縮症	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	135	アイカルディ症候群
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	136	片側巨脳症
19	ライソゾーム病	78	下垂体前葉機能低下症	137	限局性皮質異形成
20	副腎白質ジストロフィー	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	138	神経細胞移動異常症
21	ミトコンドリア病	80	甲状腺ホルモン不応症	139	先天性大脳白質形成不全症
22	もやもや病	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	140	ドラベ症候群
23	プリオン病	82	先天性副腎低形成症	141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん
24	亜急性硬化性全脳炎	83	アジソン病	142	ミオクロニー欠神てんかん
25	進行性多巣性白質脳症	84	サルコイドーシス	143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん
26	HTLV-1関連脊髄症	85	特発性間質性肺炎	144	レノックス・ガストー症候群
27	特発性基底核石灰化症	86	肺動脈性肺高血圧症	145	ウエスト症候群
28	全身性アミロイドーシス	87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	146	大田原症候群
29	ウルリッヒ病	88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	147	早期ミオクロニー脳症
30	遠位型ミオパチー	89	リンパ脈管筋腫症	148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん
31	ベスレムミオパチー	90	網膜色素変性症	149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群
32	自己貪食空胞性ミオパチー	91	バッド・キアリ症候群	150	環状20番染色体症候群
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	92	特発性門脈圧亢進症	151	ラスマツセン脳炎
34	神経線維腫症	93	原発性胆汁性胆管炎	152	PCDH19関連症候群
35	天疱瘡	94	原発性硬化性胆管炎	153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎
36	表皮水疱症	95	自己免疫性肝炎	154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症
37	膿疱性乾癬(汎発型)	96	クローン病	155	ランドウ・クレフナー症候群
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	97	潰瘍性大腸炎	156	レット症候群
39	中毒性表皮壊死症	98	好酸球性消化管疾患	157	スタージ・ウェーバー症候群
40	高安動脈炎	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	158	結節性硬化症
41	巨細胞性動脈炎	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	159	色素性乾皮症
42	結節性多発動脈炎	101	腸管神経節細胞僅少症	160	先天性魚鱗癬
43	顕微鏡的多発血管炎	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	161	家族性良性慢性天疱瘡
44	多発血管炎性肉芽腫症	103	CFC症候群	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	104	コステロ症候群	163	特発性後天性全身性無汗症
46	悪性関節リウマチ	105	チャージ症候群	164	眼皮皮膚白皮症
47	バージャー病	106	クリオピリン関連周期熱症候群	165	肥厚性皮膚骨膜炎
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	107	若年性特発性関節炎	166	弾性線維性仮性黄色腫
49	全身性エリテマトーデス	108	TNF受容体関連周期性症候群	167	マルファン症候群
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	109	非典型溶血性尿毒症症候群	168	エーラス・ダンロス症候群
51	全身性強皮症	110	ブラウ症候群	169	メンケス病
52	混合性結合組織病	111	先天性ミオパチー	170	オクシピタル・ホーン症候群
53	シェーグレン症候群	112	マリネスコ・シェーグレン症候群	171	ウィルソン病
54	成人スチル病	113	筋ジストロフィー	172	低ホスファターゼ症
55	再発性多発軟骨炎	114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	173	VATER症候群
56	ベーチェット病	115	遺伝性周期性四肢麻痺	174	那須・ハコラ病
57	特発性拡張型心筋症	116	アトピー性脊髄炎	175	ウィーバー症候群
58	肥大型心筋症	117	脊髄空洞症	176	コフィン・ローリー症候群
59	拘束型心筋症	118	脊髄髄膜瘤	177	ジュベール症候群関連疾患

難病の患者に対する医療等に関する法律第5条第1項に規定する指定難病

(1～110は平成27年1月から、111～306は同年7月から、307～330は平成29年4月から、331は平成30年4月から、332～333は令和元年7月から医療費助成を開始)

番号	病名	番号	病名	番号	病名
178	モワット・ウィルソン症候群	244	メーブルシロップ尿症	310	先天異常症候群
179	ウィリアムズ症候群	245	プロピオン酸血症	311	先天性三尖弁狭窄症
180	ATR-X症候群	246	メチルマロン酸血症	312	先天性僧帽弁狭窄症
181	クルーゾン症候群	247	イソ吉草酸血症	313	先天性肺静脈狭窄症
182	アペール症候群	248	グルコーストランスポーター1欠損症	314	左肺動脈右肺動脈起始症
183	ファイファー症候群	249	グルタル酸血症1型	315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)／LMX1B関連腎症
184	アントレー・ビクスラー症候群	250	グルタル酸血症2型	316	カルニチン回路異常症
185	コフィン・シリス症候群	251	尿素サイクル異常症	317	三頭酵素欠損症
186	ロスマンド・トムソン症候群	252	リジン尿性蛋白不耐症	318	シトリン欠損症
187	歌舞伎症候群	253	先天性葉酸吸収不全	319	セピアブテリン還元酵素(SR)欠損症
188	多脾症候群	254	ポルフィリン症	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症
189	無脾症候群	255	複合カルボキシラーゼ欠損症	321	非ケトーシス型高グリシン血症
190	鰓耳腎症候群	256	筋型糖原病	322	β-ケトチオラーゼ欠損症
191	ウェルナー症候群	257	肝型糖原病	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症
192	コケイン症候群	258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	324	メチルグルタコン酸尿症
193	ブラダー・ウィリ症候群	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	325	遺伝性自己炎症疾患
194	ソトス症候群	260	シトステロール血症	326	大理石骨病
195	ヌーナン症候群	261	タンジール病	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)
196	ヤング・シンプソン症候群	262	原発性高カイロミクロン血症	328	前眼部形成異常
197	1p36欠失症候群	263	脳髄黄色腫症	329	無虹彩症
198	4p欠失症候群	264	無βリポタンパク血症	330	先天性気管狭窄症／先天性声門下狭窄症
199	5p欠失症候群	265	脂肪萎縮症	331	特発性多中心性キャッスルマン病
200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	266	家族性地中海熱	332	膠様滴状角膜ジストロフィー
201	アンジェルマン症候群	267	高IgD症候群	333	ハッチンソン・ギルフォード症候群
202	スミス・マギニス症候群	268	中條・西村症候群		
203	22q11.2欠失症候群	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群		
204	エマヌエル症候群	270	慢性再発性多発性骨髄炎		
205	脆弱X症候群関連疾患	271	強直性脊椎炎		
206	脆弱X症候群	272	進行性骨化性線維異形成症		
207	総動脈幹遺残症	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症		
208	修正大血管転位症	274	骨形成不全症		
209	完全大血管転位症	275	タナトフォリック骨異形成症		
210	単心室症	276	軟骨無形成症		
211	左心低形成症候群	277	リンパ管腫症/ゴーハム病		
212	三尖弁閉鎖症	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)		
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)		
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)		
215	ファロー四徴症	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群		
216	両大血管右室起始症	282	先天性赤血球形成異常性貧血		
217	エプスタイン病	283	後天性赤芽球癆		
218	アルポート症候群	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血		
219	ギャロウェイ・モワト症候群	285	ファンコニ貧血		
220	急速進行性糸球体腎炎	286	遺伝性鉄芽球性貧血		
221	抗糸球体基底膜腎炎	287	エプスタイン症候群		
222	一次性ネフローゼ症候群	288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症		
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	289	クロンカイト・カナダ症候群		
224	紫斑病性腎炎	290	非特異性多発性小腸潰瘍症		
225	先天性腎性尿崩症	291	ヒルシスプルング病(全結腸型又は小腸型)		
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	292	総排泄腔外反症		
227	オスラー病	293	総排泄腔遺残		
228	閉塞性細気管支炎	294	先天性横隔膜ヘルニア		
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	295	乳幼児肝巨大血管腫		
230	肺胞低換気症候群	296	胆道閉鎖症		
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	297	アラジール症候群		
232	カーニー複合	298	遺伝性膀胱炎		
233	ウォルフラム症候群	299	嚢胞性線維症		
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	300	IgG4関連疾患		
235	副甲状腺機能低下症	301	黄斑ジストロフィー		
236	偽性副甲状腺機能低下症	302	レーベル遺伝性視神経症		
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	303	アッシャー症候群		
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	304	若年発症型両側性感音難聴		
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	305	遅発性内リンパ水腫		
240	フェニルケトン尿症	306	好酸球性副鼻腔炎		
241	高チロシン血症1型	307	カナバン病		
242	高チロシン血症2型	308	進行性白質脳症		
243	高チロシン血症3型	309	進行性ミオクローヌスてんかん		

《④後期高齢者医療制度への移行》

● …必ず手帳が必要なサービスです。
 ■ …必ずしも手帳が必要ではないサービスです。

区分	身障手帳						療育手帳				精神手帳			難病等
	1級	2級	3級	4級	5級	6級	A1	A2	B1	B2	1級	2級	3級	
	●	●	●	●			●	●			●	●		
後期高齢者医療制度への移行	<p>65歳から74歳で一定の障がいをお持ちの方は、後期高齢者医療制度を選択できます。（障害認定）現在の健康保険から後期高齢者医療制度へ移行することにより、窓口での負担割合や保険料などが変更になる場合があります。障害認定の申請は任意です。75歳になるまではいつでも申請することができます。また、75歳になるまでは、いつでも将来に向けて撤回することができます。</p> <p>障害認定の申請は以下に該当する方が対象です。</p> <p>(1) 身体障害者手帳1級・2級・3級をお持ちの方 (2) 身体障害者手帳4級をお持ちの方で、次のいずれかに該当される方 ・音声又は言語機能に著しい障がいを有するもの ・両下肢すべての指を欠くもの ・1下肢の機能に著しい障がいを有するもの ・1下肢を足関節以上で欠くもの (3) 療育手帳A1・A2をお持ちの方 (4) 精神障害者保健福祉手帳1級・2級をお持ちの方 (5) 国民年金法における障害基礎年金1級・2級の方</p> <p>申請手続きに必要なもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認印（対象者） ・障がいの程度（等級など）がわかるもの（各種障害者手帳、療育手帳、障害年金証書など） ・現在加入中の健康保険証（対象者） ・対象者及び届出者のマイナンバーがわかるもの ・届出者の顔写真付き身分証明書 													
問い合わせ先		医療保険課給付係（0956-24-1111 内線2133～2138）												